

## 函館市観光アドバイザー会議第一部会における討議テーマについて

### 1 意見・提言の分類

第 1 回部会（平成 17 年 10 月 5 日開催）における意見および提言を、以下のとおり分類整理した。

#### (1) 湯の川温泉街活性化関連

- ・温泉地としてのイメージがない。湯の浜公園の他は、散策するような場所がない。（番匠委員）
- ・熱帯植物園は熱帯植物が少なく、花もありきたりのものだ。また、猿山のニオイもきついのでこまめに掃除する必要がある。（番匠委員）
- ・遊歩道の整備について、朝、ホテルの裏を歩けるというのはすごくいいことだと思う。（番匠委員）
- ・湯の川漁港に、函館山や海を眺めたりする場所や、温泉組合のプレジャーボートなどを係留できるといい。（河内委員）
- ・湯の川温泉は「まちなか」にある温泉街なので、街との連動をもっと考えた方がよいと思う。大森浜沿いは素晴らしい景色と美しい浜辺があり、波とふれあえるようにできればよい観光資源になると思う。（二本柳委員）
- ・離岸堤を置くと砂が付く。湾全体に離岸堤を珊瑚礁リーフのように設置し、次第に砂が付くと、ベニスビーチからサンタモニカまでのような砂浜を再現できると思う。さらに人が歩けるくらいの遊歩道があると、そこから色々なものが生まれると思う。（二本柳委員）
- ・現在の護岸堤は撤去できないのだろうか。波にさわれるというのは重要な要素だと思う。（二本柳委員）
- ・温泉街の「顔」となるようなものが見えない。サインの問題だけでなく他のものでも何か欲しい。（二本柳委員）
- ・市民が何か湯の川温泉とつながりを持てるようなものがあればいいと思う。（内村委員）

## (2) コンベンション関連

- ・市民会館を改修してコンベンションホールにするか，植物園のところに多目的ホールがあればと考えている。(河内委員)
- ・函館に求められるホールは，シアター形式ではなく，アリーナ形式だと思う。使い勝手もいいと思う。また，核となる一つ大きなものがあれば，小さいものは各ホテルでもある程度対応できると思う。(二本柳委員)
- ・アーティストというのは飛行機の移動を時間が読めないために嫌がる。それで一流になればなるほど新幹線が通っているところしか行かない。そうなるとう何年か後に新幹線が来るとなれば，そういうものも見込めると思う。(二本柳委員)
- ・全国的な開催場所と件数と規模の1年間のデータが欲しい。(番匠委員)
- ・赤字の議論になると作ること自体が難しくなる。いくらその運営に赤字になるうともそれ以上に函館にお金が落ちればいいんだというような考えに立たないといけない。(古川委員)
- ・いろいろなコンベンションがあるなかでそれが観光に結びつくと思う。こういう施設が必要だとか，どういうふうに運営，情報発信していくのかなどが課題になってくると思う。受け入れについてもキャパシティが増えると潜在的に需要はあると思う。今更箱物といわれるかも知れないけれども，でもやっぱりあったらいいなという議論は必要だと思う。(星野部会長)
- ・コンベンションを受け入れる体制とか熱意とか人員とかが必要で，作ったとしてもその体制が必要だと思う。それら情報も含めて，マネジメントする力が函館は他の地域に比べて整っていないと思う。(星野部会長)

## 函館市観光アドバイザー会議第二部会における討議テーマについて

### 1 意見・提言の分類

第1回部会（平成17年10月5日開催）における意見および提言を、以下のとおり分類整理した。

#### (1) ひとつづくり関連

##### 鎌鹿委員提言

- ・観光客の改善点と従業者の自己分析（反省や課題）が合致しているかを確認する必要がある。
- ・観光案内標識の規格を統一する。
- ・観光アシスタント運動など。
- ・プロ意識を養うため、勉強会や資格取得など。
- ・改善点をディスカスする場を設け反復事業を行う。
- ・情報の定期的見直しと、専門性を重視したものも必要。

##### 池田主査による情報提供

- ・ひとつづくり、ホスピタリティについてはこれまで行われてきたのは、講習会の実施やガイドブックの作成で、これではあまり効果が見込まれなかった。
- ・他都市で観光検定が効果を上げている。ガイドブックを買い、会議所の職能検定を何千円も出して受けている。
- ・システムが構築され、有効性も認められているので、是非事業化できるように検討していただきたい。

- ・おいしい商売だと思う。本も売れて受験料も入ってきて、勝手にシステムとして動いていく。これに子供でも参加できるといい。地元のことをよく分かり、地元が好きになっていくと思う。（松原委員）
- ・検定ガイドブックはどっちにしてもあった方がいい。もし失敗しても、成果

物としてこの本が残るのだからリスクは少ない。(松原委員)

- ・ 小学校高学年くらいだと、これは副読本にもなる。(根本部会長)
- ・ 検定の問題とその合格率というのはどうなっているか。(丸藤委員)
- ・ 実際に検定を取った人がどう観光で役割を果たしてくれるかが重要だと思う。ステータス的に取るというのは多分たくさんいると思うが、ホスピタリティがあって観光客に接しようとする人の比率は低いと思う。(土田委員)
- ・ 一つの地域に限定して、講習を受けた人が資料を見ながら観光客に説明をするというのを沖縄で体験した。すごく良く、簡単で、気軽に声をかけてくれた。また、静かな場所では、イヤホンで説明が聞けるようなシステムはどうか。(土田委員)
- ・ 観光したときに街の全員がフレンドリーであるなんて期待していない。何人かごく少数の人が街の印象を決めてしまう。だから、地域限定で説明してくれる人がいればいい印象につながると思う。(阪口委員)
- ・ 函館には説明を聞かないと、すばらしさが分からないところが多い。(土田委員)
- ・ 不慣れな人でも熱心さは伝わると思う。それがホスピタリティだと思う。(土田委員)
- ・ 函館は観光地だと意識していないのは自然でいいのだけれど、逆にもっと持って欲しいところもある。それともっと勉強して欲しい。それが普段にでてしまう。(根本部会長)
- ・ 一定のエリアだとそんなに負担にならないと思う。誰でもできて、共通の資料で10回くらい講習会を受けると認定してあげて、大人数を扱わず少人数でやるとやりやすいと思う。(松原委員)

## (2) 情報化関連

- ・ 情報はある種インフラでお金がかかる。最初の経費というのは色々出てくるのだが、維持やメンテナンス(情報の更新)に随分経費がかかる。(松原委員)
- ・ できるものはいろいろあるが、何か1つに集中して、函館の観光に必要なものは何かを議論する必要がある。浅く広くやってもおもしろくないものになってしまう。(松原委員)
- ・ ツールのキーは携帯電話だと思う。毎日の情報やレストランの案内、公衆トイレの場所、時間をつぶすための「何か」の情報をGPSを利用すれば提供

できる。(松原委員)

- ・逆にスローな情報の提供があると思う。函館に来ている人を見てみると、スローな方を望んでいるような気がする。(根本委員)
- ・函館に来る観光客を見ると、高齢者、携帯やインターネットが不得手な人、函館に来たときぐらいそういうものから離れたいと思っている人が多いと思う。そういう人たちにさりげなく情報を提供する必要がある。(松原委員)
- ・情報の一つに駐車場の空き情報も入れていただきたい。最近では、レンタカー専用の駐車場(スペース)を設けているところもある。(土田委員)
- ・函館観光のクレームの3割ぐらいが、標識が分かりづらいなどの、交通関連である。コンピューターに頼らない、標識などの情報の見直しをする必要がある。(松原委員)
- ・函館の場合、観光地と住宅とが混在しているため、生活のためのインフラと観光のとのが難しい。全体として函館にお金が落ちればいいというような考えが必要。(松原委員)
- ・情報というと携帯で1回利用すると30円とかになってしまう。観光客は旅費で金がかかっているのに、さらにまたというのはきついと思う。アンケートを取ってみると有料だと使わないと言うのが多い。(松原委員)
- ・役に立つ情報もあると思うが、持って帰りたい情報もあると思う。函館は夜景以外でもいいところがたくさん分散しているので、例えばおみやげの包装紙に名所を印刷するとか、すごくスローだけれども、次につながるような気がする。(阪口委員)
- ・函館のいいところがカードになって、いろんなお店にバラバラに置いてあれば集めたくなると思う。(丸藤委員)
- ・空港など函館の出口にそのようなカードを貼っておくアルバムみたいなものがあればいいと思う。(松木委員)

国内のコンベンション開催状況(抜粋)

17/11/12 開催 第2回専門部会  
資料 3

	市町村名	団体名	国際大会	全国大会	都道府県大会	地域	計	学会	総会・大会	会議・研修	スポーツ	芸術・イベント	見本市・展示会	その他	～1,000	1,000～2,000	2,000～3,000	3,000～	参集人員計
1	函館市	(社)函館国際観光コンベンション協会	6	36	59		101	3	32	17	32	16	0	1	88	10	1	2	51,074
2	札幌市	(財)札幌国際プラザ	41	92	709	-	842	71	75	565	12	49	70	0					
3	旭川市	旭川コンベンションビューロー	12	61	153	439	665	107			343	118	27	70					
4	釧路市	(社)釧路観光協会	0	12	30	8	50	3	13	10	17	7	0	0	43	6	1	0	20,495
5	北見市	コンベンションシティ北見推進協議会	0	8	39		47												18,130
6	青森市	(社)青森観光コンベンション協会	0	28	31	8	67												7
7	盛岡市	(財)盛岡観光コンベンション協会	8	92	52	3	155	78			64	13			125	15	8	7	442,235
8	秋田市	(財)秋田観光コンベンションビューロー	2	35	51		88	19	30	20	13	6	0	0	74	8	1	5	135,792
9	郡山市	(財)郡山コンベンションビューロー	12	132	61	566	771	314			213	133	111	0					2,234,257
10	千代田区	(財)東京観光財団	13	未集計			13	3	3	7	0	0	0	0					

### シティガイド検定の実施(予定)状況

名称・主催	初回開催日	受験料	公式本	試験時間	問題数	講習会	合格者/受験者
東京シティガイド検定 (TCVB) 年1回	平成15年11月9日	初級5,250円 ほか上級	3,500円	120分		20,000円 8時間	789/1017 77.6%
札幌シティガイド検定 (札幌商工会議所) 年3回	平成16年10月31日	4,200円	1,890円	120分	50問	8,400円	253/504 (対申込者) 50.2%
京都・観光文化検定 (京都商工会議所) 年1回	平成16年12月12日	3級3,150円 2級4,200円 1級6,300円	2,100円	90分		7,000円 7時間	3676/9801 37.5%
九州観光マスター検定 (福岡商工会議所) 年2回	平成17年10月30日	3級3,500円 2級4,200円	1,890円			3,000円 6時間	
金沢検定 (金沢経済同友会)	平成17年11月20日	初級1,000円 中級1,500円		90分	100問		
萩ものしり博士検定 (萩市博物館)	平成17年11月27日	1,000円	1,000円	90分	100問		
岡山文化観光検定 (岡山商工会議所)	平成17年12月4日	3級3,000円	1,260円	90分	50問		
宇和島「通」 歴史・文化検定 (生活文化若者塾)	平成17年12月10日	500円	1,000円	50分	50問		
沖縄旅行地理検定 (旅行地理検定協会)	平成17年12月18日	2,100円		90分	45問		

H17～18年度実施予定・目標の地域(カッコ内事業主体)

奈良市(奈良商工会議所)

姫路市(姫路商工会議所)

松江市(松江市)

長崎市(長崎商工会議所)

鹿児島市(鹿児島商工会議所)

徳島県(県観光協会)

十勝支庁(帯広商工会議所)